

CASE 11

乳牛の暑熱ストレス対策の機械化で人件費削減&人手不足解消

有限会社 森末牧場（業種：農業）

所在地：仲多度郡まんのう町後山字道南13-1 電話：0877-89-6144 URL：<https://morisue-farm.com/>

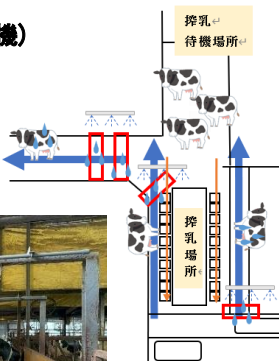
会社概要

- ・昭和51年、初代事業者であった祖父が生乳生産を主体とし乳牛3頭でスタート。その後、平成15年に現社長への事業継承を機に法人化。当時成牛30頭から、現在はホルスタイン、育成、和牛と約900頭まで拡大。
- ・当初の生乳生産だけでなく、和牛繁殖・育成、受精卵販売、子牛販売、堆肥販売、粗飼料生産と範囲を広げることで、経営基盤を安定させる努力を続けている。

補助金を活用した取組内容

- ・暑さに弱い乳牛は、暑熱ストレスによる悪影響を受けやすく、エサ（飼料）の摂取量の低下、乳量低下、繁殖機能の低下などが問題となるため、従業員が直接ホースで牛体に水をかけ、暑熱対策を実施してきた。
- ・しかし、近年の温暖化の影響で、夏場は猛暑が続き、人手不足の中、人手による暑熱対策に限界を感じている。
- ・そこで、シャワー（散水機）を導入し、牛の暑熱対策を機械化することで、暑熱対策に関わる人員の削減、固定費の削減につなげる。また、雨水を利用し、節水に取り組むこととした。

導入した設備等の概要

■導入設備
シャワー（散水機）

導入前・課題等

暑熱対策の作業効率化が課題

■設備導入前：人手による牛の暑熱対策を実施

- ・従業員が、直接、牛体に水をかける作業時間が膨大
- ・作業時間が増加する分、固定費も増加



効果・成果

導入後・改善・効果等 暑熱対策を機械化し解決！

■設備導入後：暑熱対策の自動化

- ・人件費、固定費の削減を達成
- ・安定的に均一な暑熱対策を実現
- ・夏季の乳量減少幅を設備導入前の1/2軽減を期待

